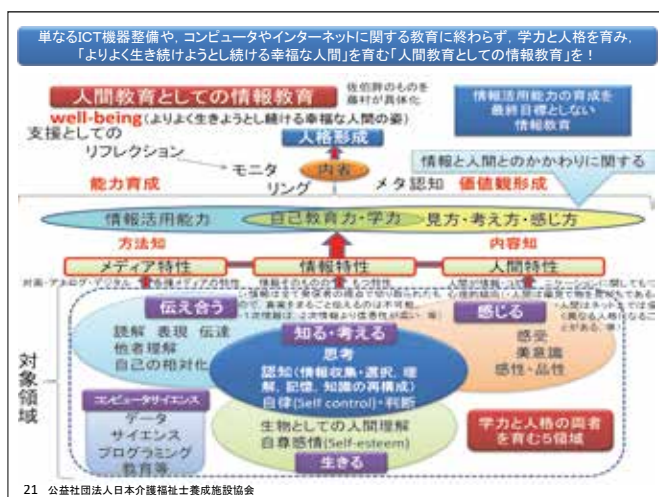


イギリス	14.2%
アメリカ	26.3%
ロシア	29.4%
イタリア	34.4%
フランス	35.2%
ドイツ	35.6%
カナダ	35.7%
インド	59.7%
ナイジェリア	62.8%
中国	64.3%
韓国	64.9%
フィリピン	69.5%
日本	70.2%



H大学教育理念
(知的技法の育成)

- 正確に理解する能力
- 正確に書く能力
- 正確に意思の疎通をはかる能力
- 数量的な処理能力(コンピュータ)
- 1つ以上の外国語に通じる能力
- 明晰かつ批判的に思考する能力
- 自然と社会と人間とのかかわり方を理解し、知識を得る方法と考え方の習得
- 違った価値観や制度をもった異文化に関する深い認識

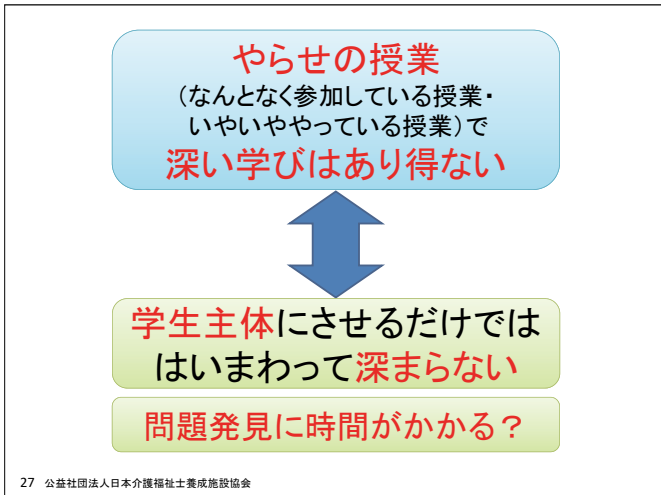




25 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



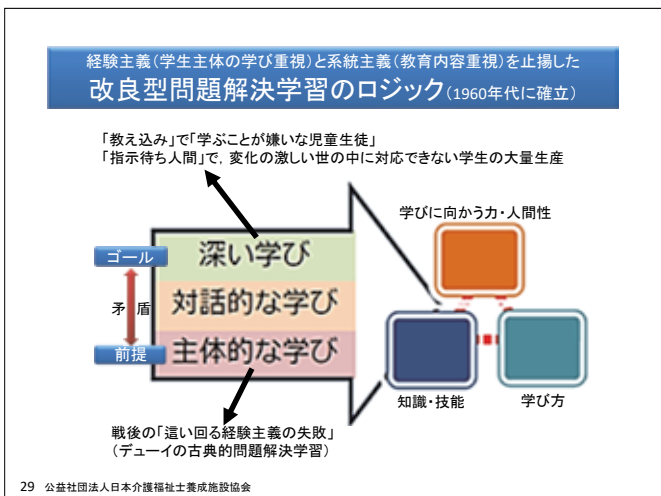
26 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



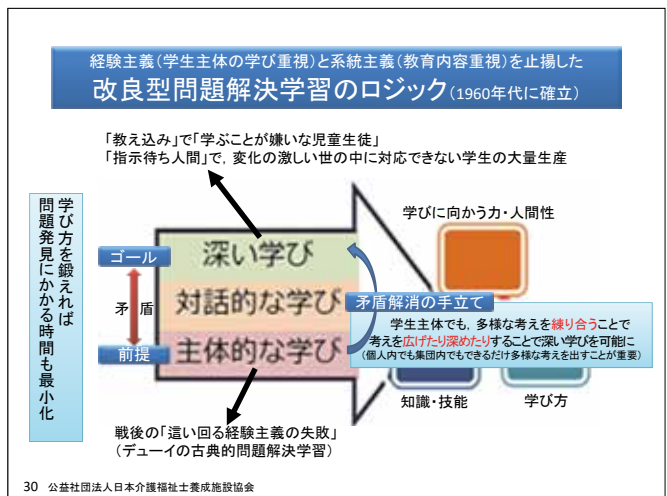
27 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



28 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



29 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



30 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

学力向上に対する授業のタイプごとの役割

授業のタイプごとに、獲得する学力が違ふ。

	教育学的授業類型	獲得するもの	3類型
鍛える授業	1) 教師主導の講義・実習・習熟型授業	基礎的・基本的な知識・技能	習得型
	2) 教師主導の課題解決学習 (学習課題・追究方法とも教師が) Project Based Learning, ジグソー学習	知識・技能の基本的活用モデル	活用型 (探究型が可能になるまでの過渡的なもの。学び方を習得済の高等教育では時間効率化のために一部採用)
自ら学ぶ授業	3) 学生主体の課題解決学習 (学習課題は教師が) (追究方法は学生が)	問題解決能力 (読解力、思考力、判断力、表現力、価値観 等)	探究型 (探究型が可能になるまでの過渡的なもの。学び方を習得済の高等教育では時間効率化のために一部採用)
	4) 問題解決学習 (学習問題、追究方法とも学生が) Problem Solving Learning, 優れたPBL	問題発見能力 問題解決能力	探究型 (最終形)

31 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

T・Sの言語比率でチェックを！

藤村(2008)

学力向上に対する授業のタイプごとの役割

全ての授業は、下記4タイプに分類することができ、タイプ(レベルでもある)ごとに獲得する学力が違ふ。

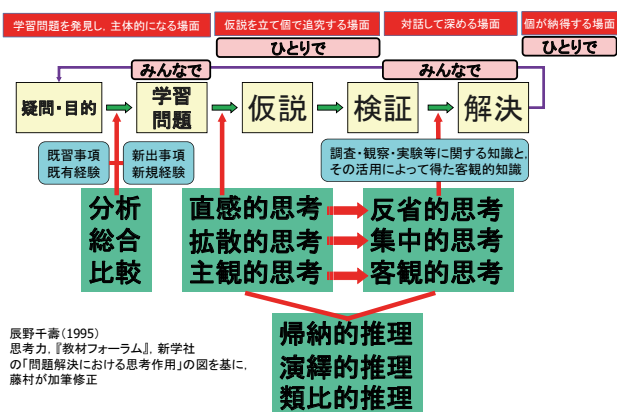
	教育学的授業類型	獲得するもの	3類型
鍛える授業	1) 教師主導の講義・実習・習熟型授業 いつの時代も基礎・基本を教師主導でしっかり育てることは重要	基礎的・基本的な知識・技能	習得型
	2) 教師主導の課題解決学習 (学習課題・追究方法とも教師が) Project Based Learning, ジグソー学習 主体的・対話的で深い学び	知識・技能の基本的活用モデル	活用型 (探究型が可能になるまでの過渡的なもの。学び方を習得済の高等教育では時間効率化のために一部採用)
自ら学ぶ授業	3) 児童生徒主体の課題解決学習 (学習課題は教師が) (追究方法は児童生徒が) 変化が激しく予測不可能な時代を生きていくために必要な問題発見・解決能力はこれでは育たない	問題解決能力 (読解力、思考力、判断力、表現力、価値観 等)	探究型 (探究型が可能になるまでの過渡的なもの。学び方を習得済の高等教育では時間効率化のために一部採用)
	4) 問題解決学習 (学習問題、追究方法とも児童生徒が) Problem Solving Learning, 優れたPBL	問題発見能力 問題解決能力	探究型 (最終形)

32 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

教師と学生の言語比率でチェックを！
(上に行くほど教師の発話が多く、下に行くほど学生の発話が多い)

藤村(2008)

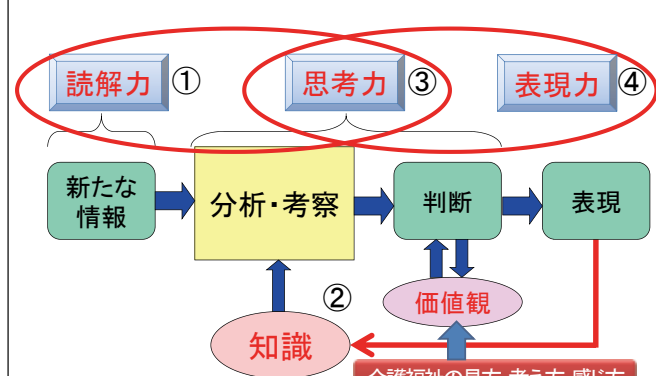
問題解決学習における思考のモデル



33 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

セットで鍛えるのがポイント！

問題解決における読解・思考・判断・表現



34 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

学生の能力を徹底的に高める先進地域の共通理念

「Teacher」であることをやめましょう！

「教師」の mindset を変える！
「教える」から「学習支援」へ

自ら問題を発見し、「解がない」問題を
「福祉の価値観」(見方・考え方・感じ方)を基に
練り合い、創造的によりよく解決できる学生へ！

一人一人の利用者の状況をつぶさに観察して読み解き、
利用者の尊厳を重視しながら、どう自立支援をしたらよいか
を考えて、関係者みんなのWell-beingを考えて練り合い、
よりよく実現する方策を創造的に考え出す学生

35 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

主体的・対話的で深い学び (アクティブ・ラーニング) 成立の3要件

「はい回る経験主義」とならないための「学び方」指導
(利用者や周辺状況の観察・問題発見の仕方、利用者の意向の引き出し方、
協働的問題解決の仕方等)

「学びの質」(深い学び)を保証する「協働学習」
(まずは自分一人で考える→みんなで練り合う
→専門家のアドバイスをもらう→改善案を考える)

教師の深い教材研究と緻密な導入場面の設計

36 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

授業の成否が決まる前提と2つのポイント

前提: 学び方が育っているか

① 学生を突き動かす
問題発見場面が設計できているか
(授業の成否の50%)

② 深い学びとなるよう練り合いが
設計できているか(予想十共有場面)
(授業の成否の50%)

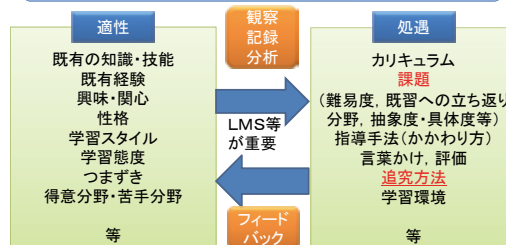
37 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

「個別最適な学び」の理論的根拠

Cronbach & Snow (1977) 適性処遇交互作用(ATI: Atitude-Treatment Interaction)

学習者の「適性」と「処遇(指導法)」には交互作用があり、
その組み合わせにより学習効果が異なる
→ 学習者の「適性」に最適な「処遇」を行えば、学習効果は最大化する。

アダプティブ・ラーニング、個性化教育・個別化教育の理論的背景



38 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

「個性化」と「個別化」の明確な識別と使い分けが
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の両立を実現する

個性化

個々の多様な見方・考え方の重視
(子供のタイプ=「類」で見て支援)

追究内容・方法の多様化
(「類」の数の複線化)

練り合いによる深まりと広がり
(交流必須)

アクティブ・ラーニングと両立
(主体的な学び)
アクティブ・ラーナー

教師の教材研究・学生理解の深さと
授業力に依存
(不足していてもできるようにICTで教員支援)

高等教育はこちらが中心
(スタディ・ログ+アシスト・ログの集積・分析)

EdTechとしての 個別化

個の見方・考え方の重視
(多様性は対象外=「個」を支援)

追究方法の個別化
(人数分の複線化)

練り合いによる深まりと広がりなし
(交流なし)

アクティブ・ラーニングと両立不可
(半受動的な学び)
半パッシブ・ラーナー

システム・教材の作り込みの良さと
分析エンジンの性能に依存

高等教育の一部(能力育成)と自学
(スタディ・ログの集積・分析)

39 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

主体的・対話的で深い学び
個別最適な学び・協働的な学びを
必然的に設計できる
授業構想の改善

40 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

看護教育における実習指導教員のコンピテンシー研究から学ぶ
介護福祉教育の実習指導の在り方
穴吹医療大学校副校長・奈良育代・藤村(2020)

本研究に取り組む背景

関わる教員により学生の成長に差異

介護福祉
専任教員

資格取得
要件多様

真面目で熱心
自己研鑽も積極的

「教育」に関する学修
不十分

教員誰もが学生の成長を支援できる

教員の何が違うのか、
教員個々の指導の特性を
明らかにする

どのような支援ができれば
教員は成長できるのか、
教員支援の在り方を研究

41 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

観察調査結果 教員の学生指導と指導力別対応分析

指導に課題を有する教員の対応

否定

問い詰める

厳しい

真面目

指導に優れている教員の対応

穏やか

聞く

たのしい

問いかける

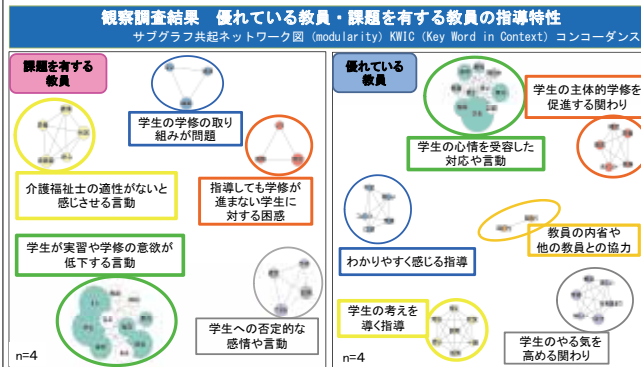
知る

ポイント

認める

n=13

42 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



※以下、資料中の一部で「看護」「看護師」「患者」を「介護」「介護福祉士」「利用者」に藤村が置き換え

43 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

観察調査・学生の質問紙調査からの結果・考察 実習指導に優れている・望ましい教員の特性

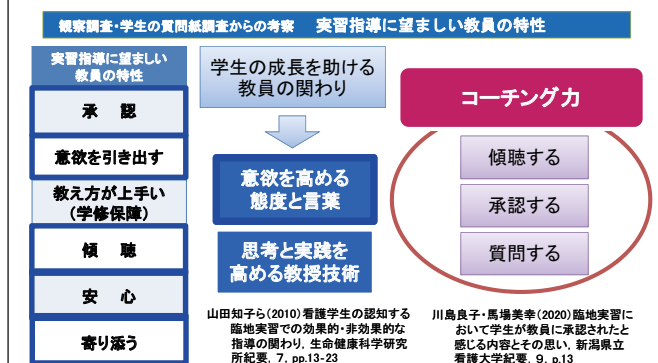
実習指導に優れている教員 (観察調査)	① 課題解決となる教員 (学生への質問紙調査)	② 指導を受けたい教員 (学生への質問紙調査)	③ 学習を促進する教員 (学生への質問紙調査)
学生を受容した対応	学生の考えをきく	わかりやすく話しやすい	承認
やる気を高める関わり	やる気を引き出す	的確な指導	褒められる
主体的学習を促進する関わり	具体的な説明	優しい	やる気を引き出す
わかりやすい指導	探究支援	接しやすい	高い指導力
学生の考えを導く指導	深い学び	思考力向上	学びの工夫
教員の内省や教員間での協力	褒める・承認	精神的支え	寄り添う
	丁寧な指導	知識・技術向上	ともに考える
		適切な助言	相談
		実習しやすい環境提供	笑顔・温厚
			安心感

44 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

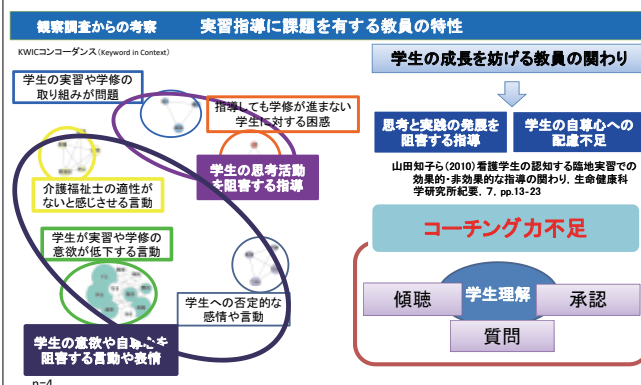
観察調査・学生の質問紙調査からの結果・考察 実習指導に望ましい教員の特性

実習指導に優れている・望ましい教員	特 性
学生を受容した態度 褒める・承認 承認 褒められる	承認
やる気を高める 主体的学習を促進する やる気を引き出す やる気を引き出す	意欲を引き出す
わかりやすい指導 具体的な指導 的確な指導 探究支援 思考力向上 深い学び 適切な助言 丁寧な指導 知識・技術向上 高い指導力 学びの工夫 わかりやすく話しやすい 学生の考えを導く	教え方が上手い (学修保障)
学生の考えをきく とともに考える 相談	傾 聴
優しい 接しやすい 実習しやすい環境 笑顔・温厚 安心感 教員の内省や教員間での協力	安 心
精神的支え 寄り添う	寄り添う

45 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



46 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



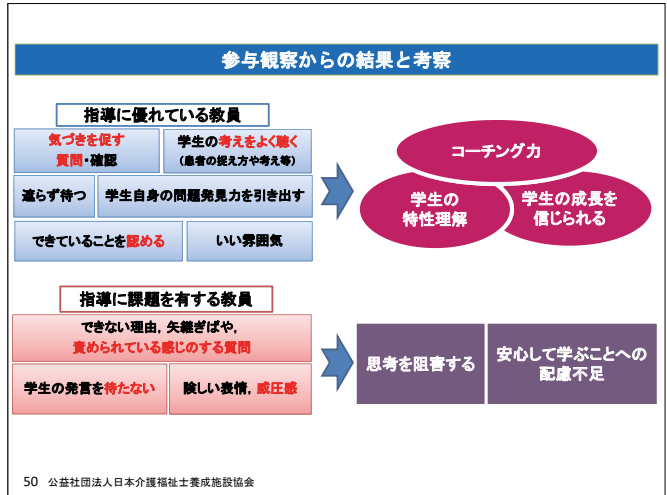
47 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



48 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



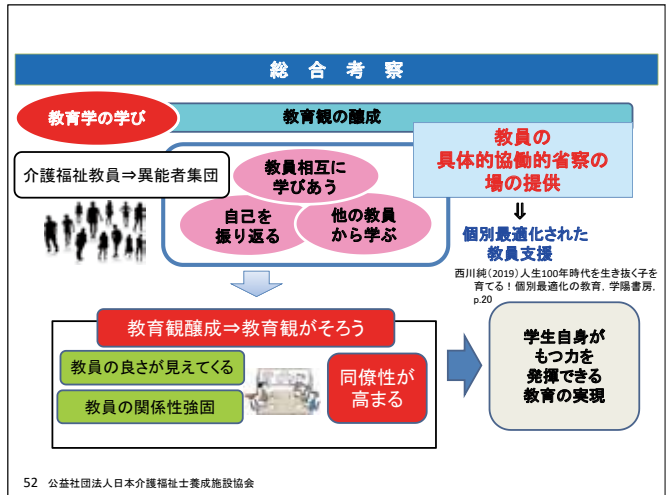
49 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



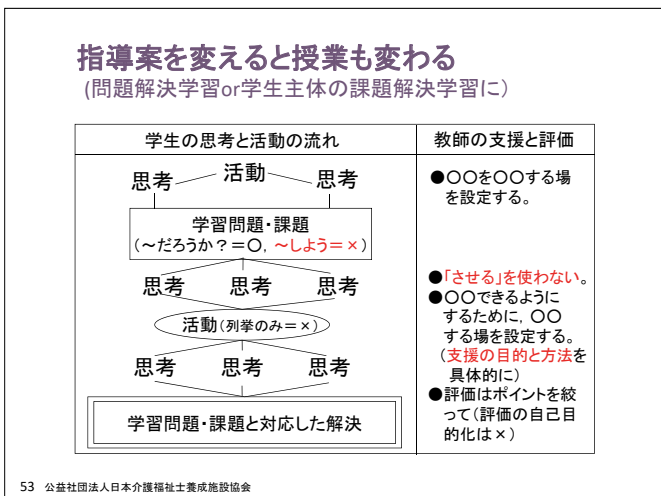
50 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



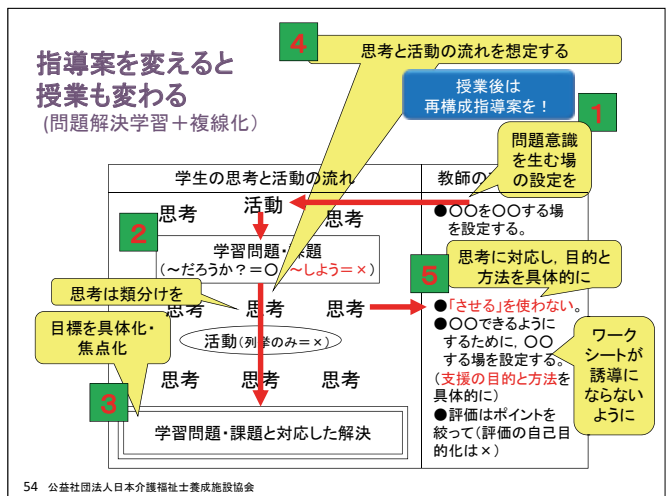
51 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



52 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



53 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



54 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

小見出しをつけることで、主張を明快に
(自分自身にとってのわかり直しにも)

授業を構造的に構想する
(児童生徒の思考と活動を想定し
それに対する支援を計画することで
主体的・対話的で深い学び
個に応じた複線化授業を
必然的に設計できる)
フローチャート型指導案

55 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

全時間の思考と活動の流れを想定し
支援を計画する

56 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

問・生心場

学習問題

教材研究と
学生の思考
と活動の流れ
の想定を
「類」に構造的
に分類し
た予想・仮
説を多様に
立てる場
(複線化)

練習場

解決

個に返す場

フローチャート型指導案の本時の例

57 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

問題発見の4つの方法

1. 既有経験や既習との「ズレ」
これまでの経験や学習では説明できない事実・事象と出会う場を設定する。
これまでの見方、考え方の「ズレ」を感じて追究せずにはいられない強い問題意識を生む。
2. 友達との意見の対立・拮抗
児童生徒の異なる意見を取り上げ、その違いを際立たせる場を設定する。
どちらが正しいのかという問題意識を生む。

58 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

3. 目的達成へ向けての障害克服
児童生徒が目標に向かって追究する際、障害にぶつかる。
どのようにしたらその障害を乗り越えられるのかという問題意識を生む。
4. 素朴な疑問から問題意識への醸成
「これはどうなっているんだろう？」といった素朴な疑問を、何のどこがわかっていないのかを明らかにする場を設定する。
強い問題意識を醸成していく。

59 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

教育内容・介護技術に関する研究だけでなく、
授業論・学び方指導(学習方法論)のプロであること

学生を夢中にさせる授業づくりを楽しむ
教師の遊び心！

授業改善は、
実はすごく楽しい！！

みんなの知恵(授業アイデア等)を共有して、
楽しい授業の再生産を！

60 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

◆科目13 個人差に対応した授業展開【外国人留学生】(対象：全教員)

目的・ねらい	・外国人留学生の困りごとを理解できる ・困りごとに対応した指導方法を導き出すことができる ・外国人留学生の学びの環境を整えることができる
講 師	・嶋田 直美／和歌山YMC A国際福祉専門学校 介護福祉士科
研修概要	(1)概論：外国人留学生の現状を説明する (2)方法論：外国人留学生の困りごとやそれに対する指導方法について、事例を用いて説明する
時間数	(1)10分／(2)20分 計30分
参考文献	・国際交流基金・日本国際教育支援協会ホームページ (https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html) ・一般社団法人職業教育・キャリア教育財団「介護福祉分野専門学校における留学生受け入れ事例集」(2016年) ・日本介護福祉士養成施設協会「外国人留学生受入れに関するガイドライン」(2017年)

近年、介護福祉士資格を目指す外国人留学生が増加してきている状況において、介護協は2017年に「外国人留学生受入れに関するガイドライン」を示した。その中では介護福祉士養成校への入学要件として日本語能力N2相当の日本語能力が必要と示している。しかし介護福祉士養成校に入学している外国人留学生をみると、実際にはN2相当の日本語能力に達していない留学生が多く入学していることも否めない。その結果、国家試験の合格率の低さなども介護福祉士養成校の課題として挙げられている。そこで本科目では、彼等が学習面でどのような困りごとを感じているのかを明らかにすること、またそれらに対してどのような指導方法が必要となるか、介護福祉士国家試験の事例問題等を用いて、日本語能力認定試験（以下、JLPT）のN2レベルとN4レベルの比較を通して紹介した。

JLPTでは日本語能力N2の認定目安について「日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる」とし、N3では「日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる」、また、N4では「基本的な日本語を理解することができる」と定めている。

まずN2とN4の日本語教育内容の比較をみると、習う語彙のバリエーションや漢字語の量が圧倒的に違う。また文章解釈では、N4では見てわかる状況や習慣的な事柄など具体的な事柄を扱うことが多くなる。しかしN2では心情・仮定・推測など抽象的な事柄を扱うことが増える。その結果、介護福祉士国家試験科目の一つである「総合問題」の事例文では、利用者の心情や仮定など抽象的な事柄を扱う問題が多くみられているため、N4レベルの留学生では事例文の内容理解ができない可能性がある。また、事例文では「訴える」や「拒否した」などN2～N3レベルで習う語彙や、「～に伴って」や「～したところ」など、N4ではまだ習っていない文法が多く用いられている。さらに日本語の特徴として主述関係が省略されている文章も多く、「誰が」「誰に」「何がどうな

ったか」といった内容の理解が困難となる留学生もある。特に日本語能力の低い留学生では語彙の読み方がわかっているにもかかわらず、その意味や内容が理解できているわけではないということを教員は理解しておく必要がある。したがって学習指導で留意すべきことは、語彙の読み方を覚えさせるよりも、言葉の意味を理解させるといった指導が必要となる。また、国家試験の過去問題や模擬問題を繰り返し実施することも日本語の文章に慣れるといった学習効果が期待できる。こういった指導を繰り返していくことで事例文の内容把握や、国家試験の解答時間が短縮できることにもつながり、結果的に試験問題の見直し時間が持てるようになる。

以上、介護福祉を学ぶ外国人留学生に対する日本語指導に必要なことは、①N4レベルの学生の場合、専門教育に先立って日常的な事柄を聴いて反応できるようにする、②漢字やカタカナの言葉への抵抗感をなくすこと、③専門用語については、その意味を説明する日本語が理解できる、といった指導を日頃から繰り返し触れさせ、習ったことを具体化する練習が必要となる。

対象：全教員

分野Ⅳ 教育方法に関すること

科目13 個人差に対応した授業展開 【外国人留学生】

公開期間：令和3年3月3日～12日

嶋田 直美 / 和歌山YMCA国際福祉専門学校

1 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目の目的

- 外国人留学生の困りごとを理解できる。
- 困りごとに対応した指導方法を導き出すことができる。
- 外国人留学生の学びの環境を整えることができる。

2 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目の流れ

(1)	概論： 外国人留学生の現状を説明する。	10分
(2)	方法論： 外国人留学生の困りごとやそれに対する指導方法について事例を用いて説明する。	20分

3 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

(1) 概論

外国人留学生の現状

4 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

外国人留学生受入れに関するガイドライン

- 基礎学力として外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格し、かつ18歳に達している者
- さらに、日本語教育を受けて一定の日本語能力を有している者

N2相当

引用：介護福祉士養成施設協会
「外国人留学生受入れに関するガイドライン」2017年3月

5 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

日本語能力レベル試験

Japanese Language Proficiency Test (JLPT)

日本国際教育支援協会が実施している、原則として日本語を母語としない人を対象に、日本語能力を測定し認定する試験

(試験の内容)

日本語の文字や語彙、文法についての能力を測るだけでなく、それらの知識を利用してコミュニケーション上の課題が遂行できるかどうかといった

読解、聴解など総合的な日本語能力を測るもの

引用：国際交流基金・日本国際教育支援協会ホームページ
<https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>

6 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

JLPTによる日本語能力レベル認定の目安

N1	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる
N2	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる
N3	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる
N4	基本的な日本語を理解することができる
N5	基本的な日本語をある程度理解することができる

出典:国際交流基金・日本国際教育支援協会ホームページ
<https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>

7 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

介護福祉を学ぶ留学生の顕在化している学習課題

- ① 日本語の細かいニュアンスが理解できない
- ② 日本語能力が不足し、授業そのものについていけない者がいる
- ③ 教科書内容や用語を理解させることに多くの授業時間が割かれてしまう

引用：一般社団法人職業教育・キャリア教育財団
 「介護福祉分野専門学校における留学生受入れ事例集」2016年

8 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

日本語能力N2レベルとN4レベルの比較

- ① 語彙のバリエーション・漢字語の量の違い
(例1)
N4「いつも助けてもらっているので、悪いと思っています」
N2「助けてもらってばかりで、心苦しいです」
(例2)
N4「申し込むとき、名前を書いて、印鑑を押したかどうか確認してください」
N2「申込に際し、署名・捺印のご確認をお願いします」

9 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

- ② より自然な日本語
(例1)
N4「書類を簡単に読んでおいてください」
N2「書類にざっと目を通しておいてください」
(例2)
N4「田中さんは、少し風邪をひいているみたいで、頭が痛いと言っている」
N2「田中さんは、風邪気味で頭痛を訴えている」

10 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

③ その他

- N4とN2では、漢字語彙の量が圧倒的に違う
- N4では、見てわかる状況や習慣的な事柄など、具体的な事柄を扱うことが多いのに対して、N2では、心情・仮定・推測など、抽象的な事柄を扱うことが増える
- 非漢字圏の学習者の中には、字形の識別が難しい学習者がみられる
(例:「問」「間」、「人」「入」など)

11 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

(2) 方法論

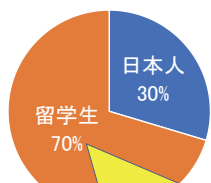
外国人留学生の困りごとや
 それに対する指導方法



12 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本校介護福祉士科の留学生状況（2019年度）

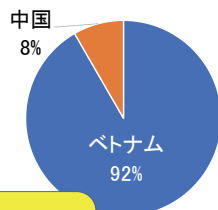
介護福祉士科の定員状況



1年生留学生：22名
2年生留学生：16名

N1、N2取得（70%）
日本語留学試験200点以上（30%）

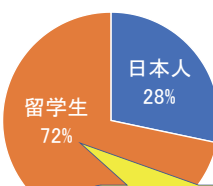
留学生の国籍



13 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

（2020年度）

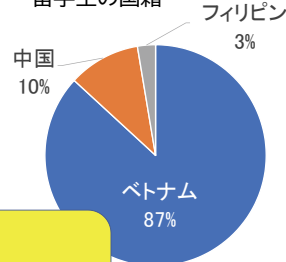
介護福祉士科の定員状況



1年生留学生：16名
2年生留学生：22名

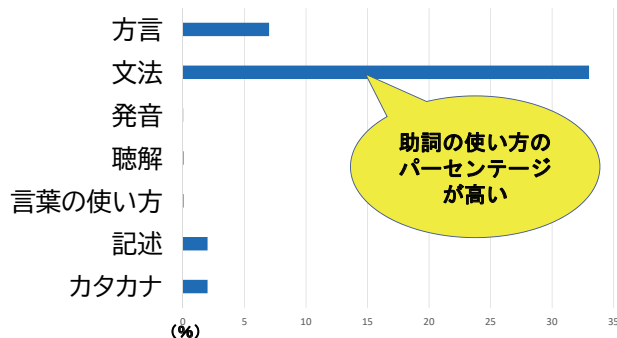
N1（3%）
N2（60%）
日本語留学試験200点以上（37%）

留学生の国籍



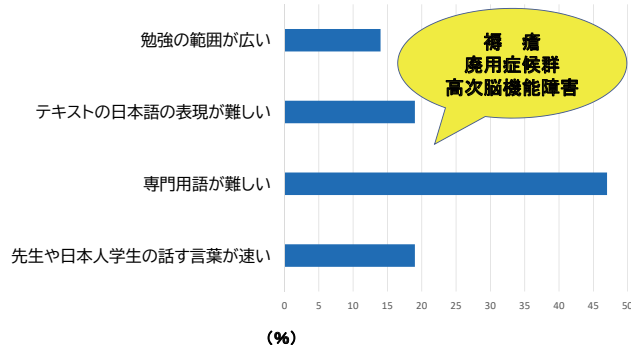
14 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

①日本語の「難しい」と感じることは何ですか（N=36）



15 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

②介護福祉士科の授業での困りごと（N=36）



16 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

国家試験の事例問題を用いた日本語の分析

（第30回介護福祉士国家試験「総合問題」）

Cさん(87歳、女性)は、「財布がなくなった、誰かに盗られた」と訴えるようになった。夫が盗られていないことを説明しても受け入れなかった。心配した夫に連れられて受診すると、アルツハイマー型認知症と診断された。その後、認知症の進行に伴って夫の介護負担が増えたので、通所介護を利用することになった。ある日、介護福祉職が入浴介助をしている時、Cさんの体に複数のあざを見つけたため、介護支援専門員に報告した。介護支援専門員から連絡を受けた地域包括支援センターの職員がCさんと夫に確認したところ、夫による暴力が原因であることがわかった。

17 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

（続き）

夫の介護負担が軽くなるように、ショートステイの利用を勧めたが、夫は拒否した。その後も、虐待は改善されなかった。そこで、市町村のやむを得ない事由による措置により施設に入所することになった。入所後まもなく、夜間に施設内を歩き回るCさんの様子が見られた。介護福祉職が声をかけると、「トイレの場所がわからない」と話した。日中はトイレで排泄を行い、下着を汚すことはなかった。

18 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

【下線：N2～N3レベルの語彙】

- ・訴える
- ・受け入れなかった
- ・連れられて
- ・受診すると
- ・診断された
- ・複数、あざ
- ・受けた
- ・暴力
- ・勧めたが
- ・拒否した
- ・虐待、改善
- ・そこで
- ・まもなく
- ・夜間、内
- ・歩き回る
- ・声をかけると
- ・日中

N4では
未習！

19 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

【赤字：N2～N3レベルの文法】

- ・に伴って
- ・ことになった
- ・ため
- ・したところ
- ・により
- ・ことはなかった

N4では
未習！

20 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

【読解で困難と思われる箇所】

- ①（「受け入れる」の意味がわかったうえで）
「受け入れなかった」
誰が、どんなことを、受け入れなかったのか？
- ②「心配した夫に連れられて受診する」
誰が、誰を、どこに、つれていったのか？
- ③「診断された」
誰が、アルツハイマー型の認知症になったのか？

21 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

④「施設に入所することになった」

誰が何を利用するのか？

⑤「夫は拒否した」

夫は、何を拒否したのか？

⑥「虐待」

誰が誰に対して行っているのか？

22 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

⑦「施設に入所することになった」

誰が施設に入所するのか？

⑧Cさんが施設に入所している理由

→が、答えられるか？

23 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

外国人留学生に対する日本語指導

- ① N4レベルの学生の場合、専門教育に先立って日常的な事柄を聞いて反応できるように
必要がある

（例）

- ～までに・・・てください。
- ～について・・・ください。
- ～てはいけません。～ないでください。
- ～しておいてください。
- ～の場合は・・・

24 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

② 漢字やカタカナの言葉への抵抗感をなくす

- 単漢字の意味を理解させる
- 漢字の構成(つくりやへんなど)を理解させる
- 漢字の読み方を教え、音読させ、書かせる
- 複数の例文を示して、文脈の中での使われ方を教える

25 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

③ 専門用語を覚えて理解するために、専門用語を説明する日本語が理解できる

- よく使う表現を繰り返し触れさせる
- 習ったことを具体化する練習

(日本語指導の目標)

- ① 講義がわかる
- 専門用語＋よく使う表現＋論理的に考える力
- 聴解力

② 教科書がわかる

26 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

(最後に…)

語彙の読み方を覚えさせるよりも、言葉の意味を理解させるといった指導が必要。

読み方がわかっていても、理解できているわけではない！

国家試験合格に向けての指導では、問題を速く読み、内容が理解できるよう、繰り返しの指導が功を奏する。

N2レベルの留学生では、ルビを煩わしく思い、「読みにくい」と感じる留学生が多い。

27 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

- 最低基準として介護福祉を学ぶための日本語能力を有していること

- 日本語能力の低い学生は、学生自身が授業等に対するストレスがかかり、精神的に悪影響を与えてしまう

- 留学生選考時に対する教員の意見

28 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

◆科目 14 個人差に対応した授業展開【学習に課題を抱える学生】（対象：全教員）

目的・ねらい	・ 学生の特性を理解できる ・ 学生の学ぶ意欲や発想力、創造力を十分に発揮できるよう、学びの環境を整えることができる ・ 教員の「気づき」を具体的な学習支援につなげる
講 師	・ 木村 あい／神戸女子大学 健康福祉学部 社会福祉学科
研修概要	(1) 概論：学習に課題を抱える学生の現状を説明する (2) 方法論：教員の気づきを具体的な学習支援につなげ、学びの環境を整える方法について事例を用いて考える
時間数	(1) 10 分／(2) 30 分 計 40 分

この研修は、学生の特性を理解できる。学生の学ぶ意欲や発想力、創造力を十分に発揮できるよう、学びの環境を整えることができる。教員の「気づき」を具体的な学習支援につなげる。ということを目的としている。

本科目の流れは、(1) で学習に課題を抱える学生の現状を説明し、(2) では教員の気づきを具体的な学習支援につなげ、学びの環境を整える方法について事例を用いて考えていった。

様々な学生がいる中で、教員の「あれ？おかしいなあ・・・何でだろう」という気づきを大切に、授業展開を考えていくことが重要である。まず、教員が気になる学生は、ほとんどの場合、本人はとてもし生懸命にやっている。今回は、「本人は一生懸命やっているのに、なぜ？」と感じる事例について考えていった。

このような学生は、周囲の人と自分を比べてしまっ、劣等感を抱いている場合も少なくない。また、どうして自分はできないのだろう、なんで人とうまく関われないのだろう、また失敗して注意を受けるのではないかなど、一日中緊張していたり、失敗を恐れて積極的になれなかったりする。

まず、学生の困りごとやニーズを把握するための学生対応の基本に触れていきたい。まず、カウンセリングマインドをもって接し、秘密を守り、合理的配慮をする。さらに、個々に合わせた関わり方が必要である。

次に学生の「できない」を「できる」に変換していくために事例を用いて説明していった。

教員の気づきを具体的な学習支援につなげ、学びの環境を整える方法について考えていった。教員が気になっている学生は、本人も「なんで自分はできないのだろう」と悩んでいる場合がある。そのため、成功体験を増やして、自信をつけていくことが必要となる。少しの工夫で学生の「できない」を「できる」に変換していける場合がある。

ここでは、5 つの事例を用いて、教員が気づいた一つの行動や状況から、その原因は何か、解決に向けてヒントとなることや支援方法を考えていった。

事例 1：入学式や授業で落ち着きがないケース

事例 2：課題が提出できないケース

事例 3：一斉の指示で行動ができないケース

事例 4：履修登録を間違えるケース

事例 5：実習でのトラブルについて

学習に課題のある学生と一言と言っても、様々なケースがある。私たち教員が、学生に何を教授するのかということも大切であるが、その土台になる環境を整備することが重要といえる。学習に課題のある学生それぞれに共通して言えることは、構造化することである。

構造化とは時間や手順をみえる形にすることである。構造化するメリットとして、課題の原因に対して適切な対処ができるようになる、課題解決の優先順位がつけやすくなる、情報共有やコミュニケーションがしやすくなるということが挙げられる。それにより、学生が、理解しやすく、不必要な混乱をしなくてすんだり、効率的に学習するのを支援できたり、安心して自信を持って学習、生活できたり、必要な情報に注意を集中しやすくしたり、できるだけ自立して生活し、自分の行動をマネジメントすることができるようになる。

対象：全教員

分野Ⅳ 教育方法に関すること

科目14 個人差に対応した授業展開
【学習に課題を抱える学生】

公開期間：令和3年3月3日～12日

木村 あい / 神戸女子大学

1 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目の目的

- 学生の特性を理解できる。
- 学生の学ぶ意欲や発想力、創造力を十分に発揮できるよう、学びの環境を整えることができる。
- 教員の「気づき」を具体的な学習支援につなげる。

2 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目の流れ

(1)	概論： 学習に課題を抱える学生の現状を説明する。	10分
(2)	方法論： 教員の気づきを具体的な学習支援につなげ、学びの環境を整える方法について事例を用いて考える。	30分

3 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

(1) 学習に課題のある学生の現状

気になる学生はいる？

例) 入学式や授業で落ち着きがない
宿泊行事の参加が難しい
忘れ物が多い
課題が提出できない
一斉の指示で行動ができない
履修登録を間違える
実習先でのトラブル etc...

4 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本人は一生懸命やっている

どうして自分
はできないの
だろう

ミスや注意され
るのを恐れて、
一日中緊張して
いる

なぜ、人とう
まく関わられ
ないのだろう

同級生はできて
いるのに・・・
劣等感

5 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

「障がい学生」への対応

- ・合理的配慮
「合理的配慮」の観点として

- 1 教育内容・方法
- 2 支援体制
- 3 施設・設備について

障がいのある学生が十分な教育を受けられるようにするためには、個別の教育的ニーズのある学生に対して、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる多様で柔軟な仕組みを整備していく必要がある。

出典： 文部科学省ホームページ <https://www.mext.go.jp/>

6 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

学生対応の基本

【1】カウンセリングマインド

- 対等な立場として認識する
- 話しやすい環境を作る
- きちんと話を聴く
- 学生の立場を理解する
- 傷つけない
- 情報を正確に伝える
- 自分の間違いに気づいたら謝る

【2】秘密を守る

【3】合理的配慮

7 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

(2) 教員の気づきから支援へ

・学生の「できない」を
「できる」に変換していく

8 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

事例1 入学式や授業で落ち着きがない

なぜ？

- 初めての場所や場面が苦手
- 先の見通しが持てず、不安に感じる

ヒント

- 本人・保護者から情報を得る
- 教員間で対応方法を話し合う

対応

- 人や場に慣れるようにする
- 先の見通しが持てるようにする

9 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

事例2 課題が提出できない

なぜ？

- その時は理解したのに時間が経つとわからなくなる

ヒント

- 本人・保護者から情報を得る
- 教員間で対応方法を話し合う

対応

- その都度確認する
- 本人がメモを取る（ルール化していく）

10 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

事例3 一斉の指示で行動ができない

なぜ？

- 口頭説明だけでは、理解しにくい
- 板書が書き取れない
- 周りに気がとられて集中できない etc

ヒント

- 本人・保護者から情報を得る
- 教員間で対応方法を話し合う

対応

- 視覚でわかるように工夫（プリントや動画）
- タブレット等の使用

11 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

事例4 履修登録を間違える

なぜ？

- 単なる忘れ
- やったつもり

ヒント

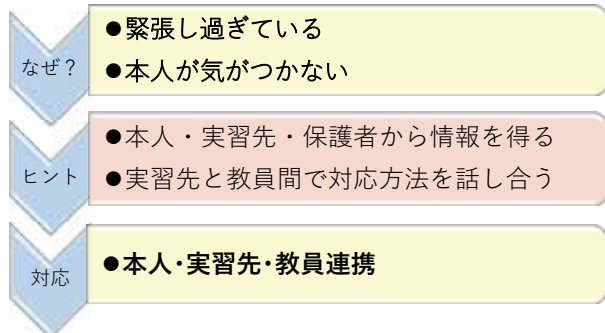
- 本人・保護者から情報を得る
- 教員間で対応方法を話し合う

対応

- 逐一確認をとっていく

12 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

事例5 実習でのトラブル



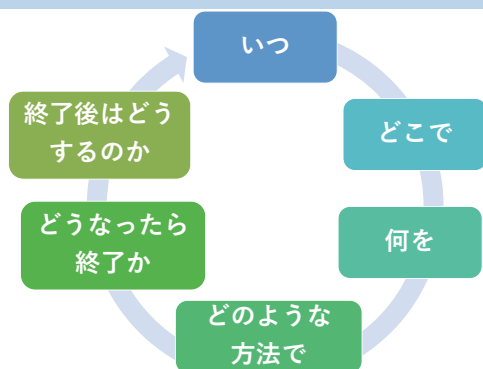
13 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

構造化する

- 時間の構造化
 - 空間の構造化
 - 手順の構造化
- +
- 視覚化
- 何を教授するのも大切であるが、その土台になる環境を整備することが重要である

14 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

何を視覚化するのか



15 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

まとめ



16 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

◆科目15 ICTを用いた新たな授業方法（対象：全教員）

①生活支援技術を遠隔授業として行った成果と課題

②ICTを活用した、双方向性の授業展開－福祉系高等学校におけるICTの活用を例に－

目的・ねらい	・遠隔授業を柔軟に取り入れることで、教授方法を増やすことができる ・遠隔授業の手法を取り入れ、他の授業を観ることにより教員間で科目の連携を図ることができる、学生同士・教員間でピアレビューすることができる ・ICT初心者でも使用できるGoogle社のG Suiteを活用した福祉教育について知る ・アプリケーションツールを活用し、遠隔授業でも対面授業でも双方向の授業ができる可能性について考える
講師	①吉岡 俊昭／トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 介護福祉学科 ②中山 見知子／群馬県立伊勢崎興陽高等学校 福祉系列長
研修概要	①実践報告：生活支援技術を遠隔授業として行った成果と課題 ②実践報告：ICT（Google社のG Suite）を活用した、双方向性の授業展開－福祉系高等学校におけるICTの活用を例に－
時間数	①30分／②30分 計60分

①実践報告：生活支援技術を遠隔授業として行った成果と課題

生活支援技術の授業にICTを活用したことで学生の学びが深まった実践を報告した。WEBでの授業を行った数か月は、教員が学校で撮影した実技動画をMicrosoft Teamsを活用して学生に動画を配信した。学生は送られた動画を自宅で見ながら、基本的な動きの練習を家族などと一緒に何度も練習することで、対面授業を再開した際に体の使い方や動きが理解できており、効率よく授業を進めることができた。また、対面授業が始まってからも自分の実技をスマートフォンを使って学生同士で撮影、ピアレビューし自分の実技を見ることで、動きの確認等が効果的にできるようになった。実技試験でも学生一人ひとりの試験風景を動画撮影した。そして学生は試験後すぐに撮影した動画を見ながら、行った支援についてのプレゼンテーションを実施した。学生にとってはICTの活用によって、自分の技術を客観的に見ることで、自分の癖やできていない部分、できている部分を具体的に知ることができるといった効果があった。また教員間では科目間で連携していくために、撮影した実技試験を学科会議で見ながら、学生一人ひとりの習得度を確認した。これにより座学で教えたことが実技の中でどのように活用できているかを教員間でもピアレビューを行ったことで連携が取りやすくなった。このようにコロナ禍で授業が思うように実施できない中でも、学生の学びを止めないよう教員が今できることを積極的に取り入れ、連携していくことが今後必要になってくると考えられる。

②実践報告：ICT（Google社のG Suite）を活用した、双方向性の授業展開

ICTを活用し、リモートで実施した高校生福祉研究発表会について報告した。初めての試みであり、接続が上手くいかないなどのトラブルもあったが一定の教育効果を得ることができた。リモートによる発表会であるにも関わらず、資料の共有表示だけではないアナログを活用した方法で発

表した学校も多くあることに注目したい。I C Tとアナログの良さを融合して実践していくことの大切さを感じた。また、G I G Aスクール構想で配布された Chromebook を活用して実践した授業報告も行った。Google 社の G Suite にあるアプリケーションを活用することで、対面でも遠隔でも双方向性の授業展開ができる。I C T機器を活用することで、グループ学習が効率的に進み、意見も出しやすくなることで主体的・対話的に学習が行え、深い学びに到達できる事が示唆された。今後、I C T機器は文房具と同じ扱いとなり I C T機器を使いこなす子ども達が高等教育にも入学してくる。教員が上手に使いこなせなくても「やってみる勇氣」で I C Tを活用した講義に取り組んでいくことが必要と考えられる。

令和2年度生活困窮者救済支援事業費等補助金(社会福祉推進事業分)
「介護福祉士養成施設の教員の教育力向上に関する調査研究事業」
介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けたモデル研修

対象：全教員

分野Ⅳ 教育方法に関すること

科目15 ICTを用いた新たな授業方法

①生活支援技術を遠隔授業として行った成果と課題

公開期間：令和3年3月3日～12日

吉岡 俊昭 / トリニティカレッジ
広島医療福祉専門学校

1 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目の目的

- 遠隔授業を柔軟に取り入れることで、教授方法を増やすことができる。
- 遠隔授業の手法を取り入れ、他の授業を観ることにより職員間で科目の連携を図ることができる、学生同士・教員間でピアレビューすることができる。

2 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目の流れ

(1)	生活支援技術を遠隔授業として行った実践報告	10分
(2)	ICTを活用した新しい生活支援技術 学生間・教員間のピアレビューについて	15分
(3)	ICTを取り入れた授業の成果と課題	5分

3 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

遠隔授業の実施（2020年4月～5月）



対面授業が始まった時に効率よく実技が習得できるよう基本的な考え方とからだの使い方等の動画を作成

4 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



5 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

在宅で学生が授業配信を見て練習を実施



【学生からの意見】
・入学後、実技の授業ができないという不安があったが、授業が配信をされたことで、イメージが付きやすかった。
・何度も家で練習できるので、対面授業が始まってから、早くクラスメイトと練習したいという気持ちが出てきた。
・何度も説明や動きを見直すことができたので理解しやすかった。

6 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

グループに分け授業を開始（2020年6月～）



36人を4グループに分け対面授業を開始

7 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

学生同士で介助している動画を撮影



授業にスマホを持ち込めるようにし、こまめに動画を撮影するように変更

8 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

ICTを活用したピアレビュー（学生間）



接触の機会を減らすだけでなく、自分が行っている介助を客観的に見て分析できる機会となっている。

9 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

授業外でも動画を活用



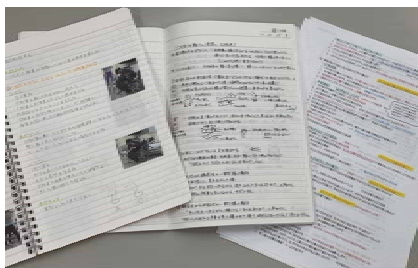
放課後自主練習をしている学生

10 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

要点を実技ノートにまとめる

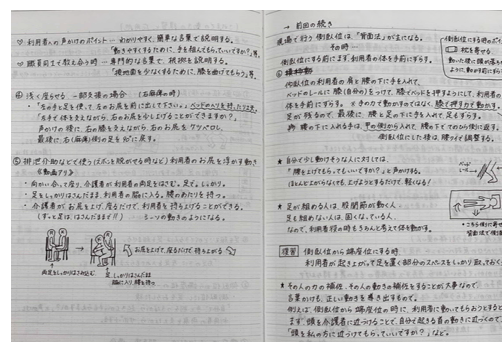
まとめ方は自由 個々の学生がそれぞれ工夫して作成

自宅で実技ノートをまとめる学生



11 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

実技ノートの一例



基本的な考え方や要点の理解が深まる機会となっている

12 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

実技試験でも I C T を活用



13 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

実技試験でも I C T を活用



学生が、実践した支援を
根拠立てて
言語化できるようになる

14 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

I C T を活用したピアレビュー（職員間）



学生の現在の能力を学科の教員間で共有できることで、
一貫した指導を行うことができる

15 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

I C T を活用した授業の成果

- ・教員が授業で一度した実技を何度も繰り返し見られることで習得しやすくなった
- ・自分の実技を客観的にみることで、正しい方法との違いがわかりやすくなった
- ・以前よりも動きに関する細かい質問が教員にできるようになった
- ・教員自身も自分の実技を見直す機会となっている

16 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

I C T を活用した授業の課題

- ・教員が写真や動画を撮る角度を的確に指示することで、要点が伝わりやすく授業の進行が円滑になる
- ・今後も柔軟な発想で I C T を活用し、学生の学びを深めていく

17 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

ま と め

I C T を活用した教育の先に
I C T が活用できる介護福祉士が育つ

18 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

令和2年度生活困窮者に対する生活支援事業費等補助金(社会福祉推進事業分)
「介護福祉士養成施設の教員の教育力向上に関する調査研究事業」
介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けたモデル研修

対象：全教員

分野Ⅳ 教育方法に関すること

科目15 ICTを用いた新たな授業方法

② ICT (Google社のG Suite) を活用した、双方向性の授業展開
－福祉系高等学校における ICT の活用を例に－

公開期間：令和3年3月3日～12日

中山 見知子／群馬県立伊勢崎興陽高等学校

1 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本研修の目的

- ICT初心者でも使用できるGoogle社のGSuiteを活用した福祉教育について知る。
- アプリケーションツールを活用し、遠隔授業でも対面授業でも双方向の授業ができる可能性について考える。

2 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目の流れ

(1)	高校生福祉研究発表会の報告 (群馬県大会と関東大会)	15分
(2)	Chromebook (GoogleのChrome OSを搭載したPC) を活用した授業実践報告	15分

3 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

高校生福祉研究発表会

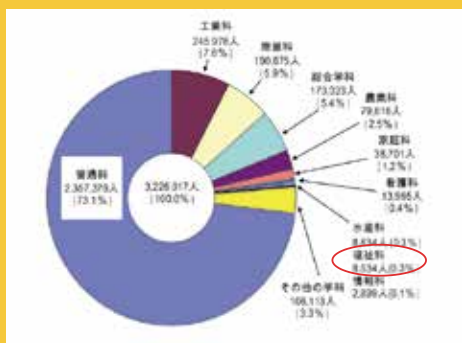
学びを止めるな！！



<http://www.free-powerpoint-templates-design.com>

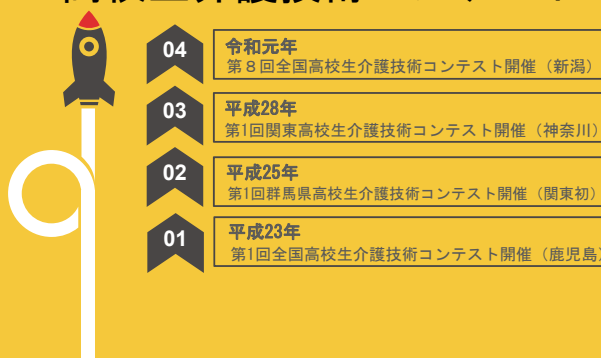
4 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

高等学校の学科別生徒数（本科）平成30年度



文部科学省「学校基本調査」平成30年度結果の概要
5 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

高校生介護技術コンテスト



6 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

COVID-19 感染拡大



2020.1.6

中国武漢で原因不明の肺炎
厚労省が注意喚起



2020.2.27

安倍首相、全国全ての小中高校
に臨時休校要請の考え公表

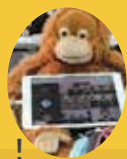
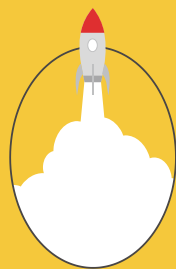


2020.3.11

センバツ高校野球
初の中止決定

COVID-19 トラッカー <https://www.bing.com/covid>
新型コロナウイルス感染症対策 時系列表
https://www.nishi.or.jp/kurashi/anshin/information/k_000120200407.files/kensyuhoukokusyo_tiran.pdf

7 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



学びを止めるな！

高校生介護技術コンテストに代わる大会を

リモートで！

8 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

福祉研究発表会 課題

日立 竜さん(75才・男性)は2年前に脳梗塞で倒れ、左片麻痺と脳血管性認知症の症状があります。介護老人保健施設に入所していましたが、1年前に特別養老老人ホームに移ってきました。

入浴を終え、シャワーキャリーで脱衣場にいます。身体は拭き終わっています。脱衣場の椅子に移乗して服(肌着・下着)を着るまでの支援をしてください。暑がりなので下着を着用後に整容をしてから衣服を着用します。着衣後は整容を行う予定です。

左上肢は拘縮が強く痛みを伴うためご自分で動かすことが困難であり、ポジショニングが崩れやすく、座位が安定しないことがあります。普段はわずかな距離であれば車椅子で自走されていますが、左側への注意が向きにくい場面が見られます。

立位は、介護者の支えがあれば可能ですが、立位保持能力の低下や痛みがある為、急な膝折れが見られます。



9 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



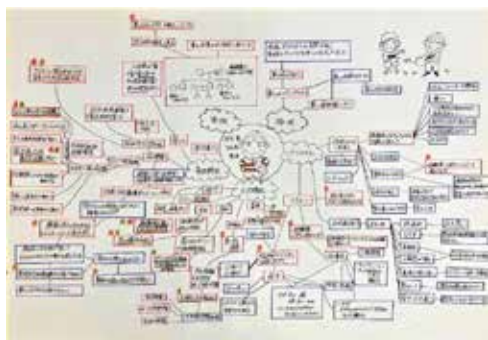
安心・安全を確保した介護技術

～自立支援を基礎とした適切な拘縮ケアの視点から～

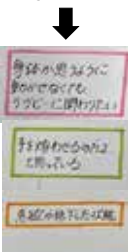
群馬県立新田高等学校 アミン 美玖 津久井 菜々花

10 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

日立さんを考える会



フローチャートから私たちが考えたこと



神奈川県立津久井高等学校 福祉科3年
考える会代表 山際 桃佳 谷口 賢史 和田 彩季
考える会会員 3年6組のみんな

11 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

福祉研究発表会



01

発表する
リモートでできる
自由な方法で発表！

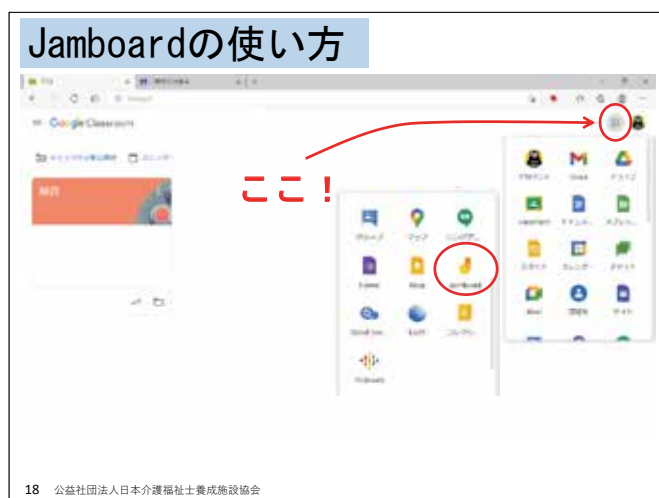
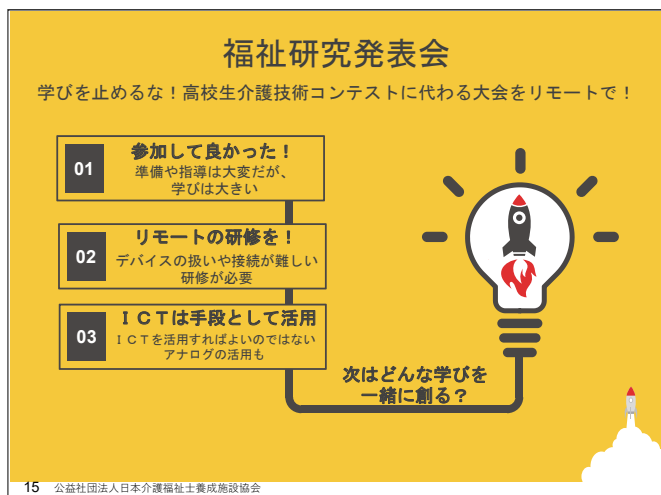
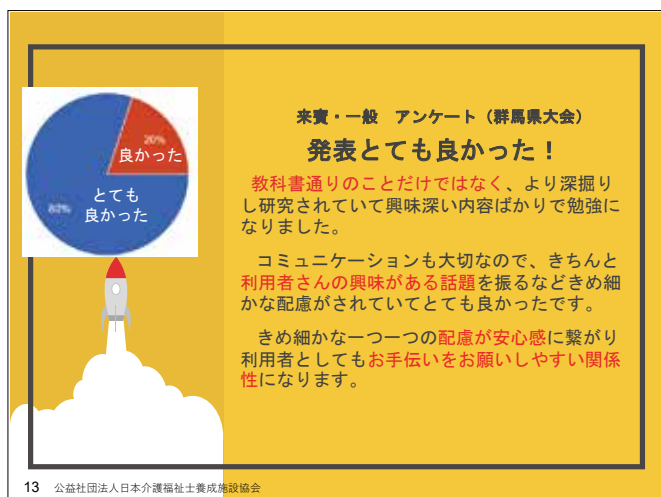
02

振り返る(カンファレンス)
マナーを守った発言。
ホワイトボードの活用

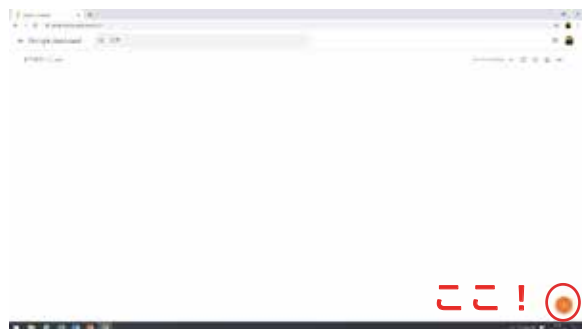
03

講評(デブリーフィング)
専門職によるリモート指導

12 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

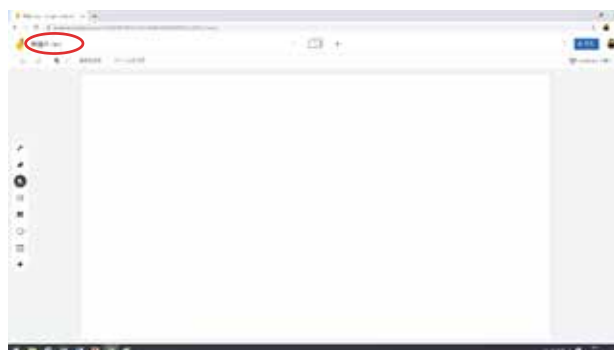


Jamboardの使い方



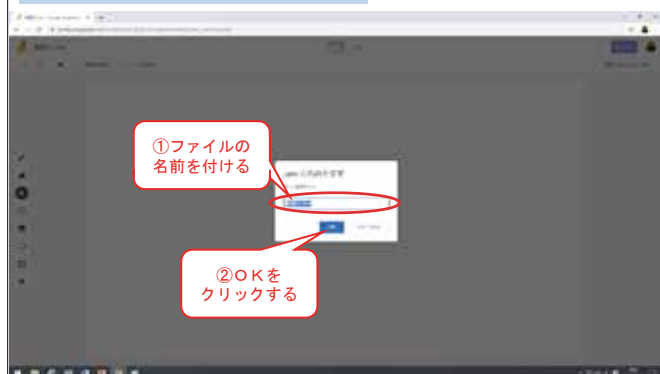
19 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

Jamboardの使い方



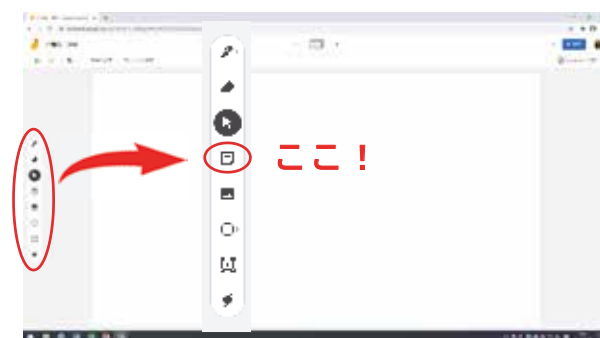
20 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

Jamboardの使い方



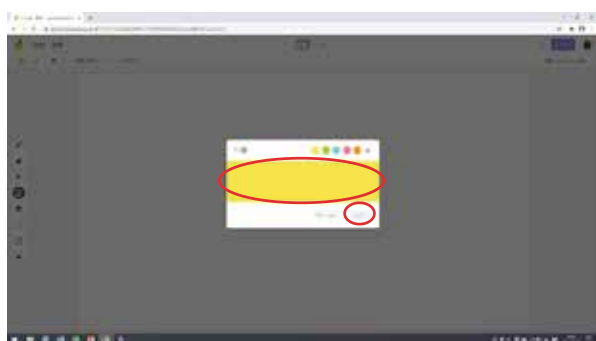
21 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

Jamboardの使い方



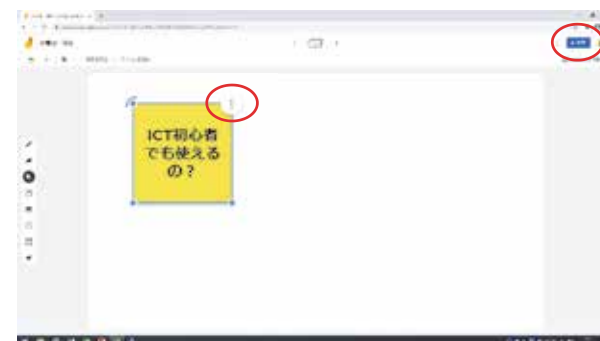
22 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

Jamboardの使い方



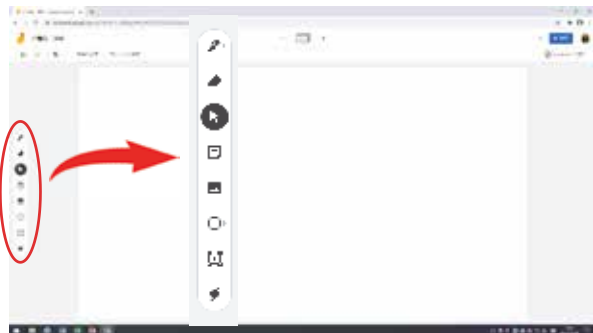
23 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

Jamboardの使い方



24 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

Jamboardの使い方



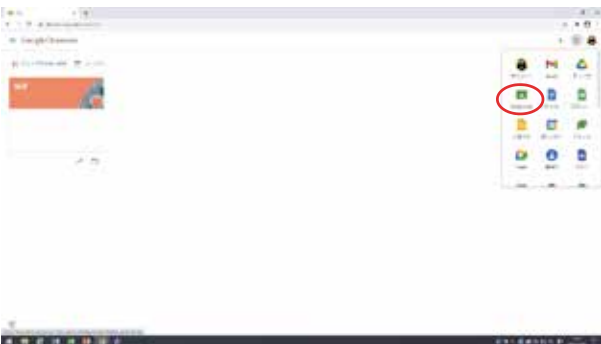
25 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1 B:赤城妙子さん



26 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

Classroomの使い方



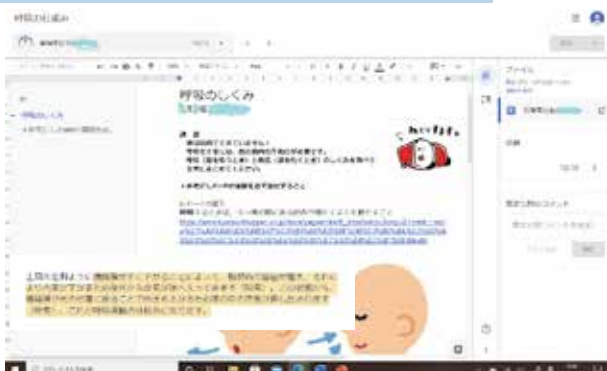
27 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

Classroomの使い方



28 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

ドキュメントでの課題配布



29 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

研究発表会の準備



30 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

研究発表会の準備



31 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

研究の様子

令和3年 2月17日(水) 9:00~15:00

【過酷】車椅子の方の生活を体験してみたらヤバかった！！



9:20前橋行き電車に乗ったよ！

駅員さんに許可を取り、車椅子で電車に乗らせていただきました！

ホームへの移動中は車椅子への視線がありました。その視線を受け取った感想としては、痛かったです。来ちゃいけないのかなと思えるくらいのものでした。



また、ホームが狭かったので移動が怖かったです。ずっと点字ブロックより外側を歩いている状態でした。待ってる人は避けてくれませんでした。

32 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

研究の様子



スロープを自分で登るのは女性や子供、高齢者など力が弱い方は難しいと思った。

でも、1人のときは、駅員さんが押してくれるので安心！

しかも

横に立っていてくれて、安心！



スロープを使うときは、早めに駅員さんに声をかけないと電車に間に合いません！笑

初めての車椅子だったので、モタモタしていたらギリギリセーフでした(・×・;)

33 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



上手くできなくても
やってみよう

やってみる勇氣

34 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

◆科目16 「地域」を学ぶ授業のつくり方（対象：全教員）

目的・ねらい	・介護福祉士が地域を学ぶ必要性を理解できる ・介護福祉士養成において学生が地域と関わることの必要性を理解できる ・学生と地域資源のつながり方を学ぶことができる ・実践を通してチームをマネジメントする必要性を理解できる
講 師	・吉岡 俊昭／トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 介護福祉学科
研修概要	(1) 概論：介護福祉士が地域を学ぶ必要性について (2) 実践報告：対象者の生活を地域で支える実践力の向上を目指し、本校では新たに「社会貢献活動」という授業科目を設置した。この授業のねらい、実践して見えてきた成果と課題について報告する
時間数	30 分

■介護福祉士が地域を学ぶ必要性について：新カリキュラムでは、チームマネジメント能力を養うための教育内容の拡充、対象者の生活を地域で支えるための実践力の向上、介護過程の実践力の向上、認知症ケアの実践力の向上、介護と医療の連携を踏まえた実践力の向上が掲げられている。本校ではその中でチームマネジメント能力の向上と、対象者の生活を地域で支える実践力に着目し、『社会貢献活動』という授業を始めた。現在の介護福祉施設の現状として、対象者が施設に入所してしまうと地域とのつながりが希薄になってしまい、施設の中だけで対象者の生活が送られている現状が多い。要介護状態になってもいつまでも住み慣れた地域で生活をするということは、たとえ介護福祉施設に入所したとしても、介護福祉士が中心となって関係各所に働きかけを行い、地域とのつながりが継続できるようにしていく必要があるのではないかと考える。

■『社会貢献活動』の狙い、実践してみえてきた成果と課題：本校の『社会貢献活動』を通して、地域の対象者はどのような生活をしているのか、地域資源にはどのようなものがあるのか、対象者の生活を地域で支えていく仕組みづくりのために自分たちに何ができるのか等を、学生が主体的に考え実践していけるような活動にしていきたいと考えている。

活動内容としては、1、2年生を合わせて8グループに分けて活動する。毎週水曜日の午前中を活動の日として、地域の100歳体操に参加して一緒に体操を行うグループ、地域の花壇のお世話や公園の草取りなどを地域の方と一緒にを行うグループ、地域のペタンクサークルと一緒に活動を行うグループ、地域のデイサービスセンターにレクリエーションをしに行くグループや地域の方々が家でも使える体操DVDを作るグループなどがある。その他にも小学校での福祉の授業や公民館活動などにもグループごとに参加している。それぞれがグループリーダーを中心に活動予定を立て、その日の活動をスマートフォンで共有しながら、毎回活動している。イベントなどでかかった費用や交通費などは月ごとにリーダーがまとめ事務室に請求するようにし、お金の管理も自分たちで行うようにしている。活動終了後にはその日の担当学生が日誌を書き、グループ内で回し、見た学生は確認印を押すようにし、活動内容をグループ全員で共有できるようにしている。

学生は介護福祉士になるために学校に入学してきており、介護福祉士は介護を必要とする人たちに支援をしていくことが仕事だと思っている。そのような学生が多い中で、介護福祉士の新たな可能性と、これから求められる介護福祉士の役割についてしっかりと説明したうえで、活動を行っている。1、2年生が一緒にグループになっていることで、2年生がリーダーとなり、1年生がフォロワーの役割を果たしながら、実践を通してチームマネジメントを学ぶことができている。また、自分たちのやりたいことを企画する企画力やイベントや行事を運営する実践力を養い、失敗することはあっても次につなげ楽しく学ぶことができている。

今年度はコロナの影響で活動が制限され、思うような活動ができていないグループもあったが、その中でも、学生たちがマスクを作って施設や地域に配布したり、今何ができるのかを考えて動く力が身についてきているように思う。今後の課題として、現在の活動は高齢者に関わるが多いが、最近では近隣の子どもたちも学校に集まるようになってきている。このことから高齢者や子どもたちといった近隣住民を、学校の活動を通してどのようにつなげていくかを学生と一緒に考えていきたいと思っている。そして、学校で学んだ地域に仕掛ける面白さと、『地域で生きる』を支えることの大切さを学生が就職した先で、今度は自分たちの施設を拠点に地域を巻き込みながら色々なことに挑戦してほしいと思っている。

令和2年度生活困窮者救済費等補助金(社会福祉推進事業分)
「介護福祉士養成施設の教員の教育力向上に関する調査研究事業」
介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けたモデル研修

対象：全教員

分野Ⅳ 教育方法に関すること

科目16「地域」を学ぶ授業の作り方

公開期間：令和3年3月3日～12日

吉岡 俊昭 / トリニティカレッジ
広島医療福祉専門学校

1 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目の目的

- 介護福祉士が地域を学ぶ必要性を理解できる
- 介護福祉士養成において学生が地域と関わることの必要性を理解できる
- 学生と地域資源のつながり方を学ぶことができる
- 実践を通してチームをマネジメントする必要性を理解できる

2 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目の流れ

(1)	介護福祉士が地域を学ぶ必要性	5分
(2)	学生がチームで行う地域活動の実践報告	20分
(3)	「地域」を学ぶ授業の成果と課題	5分

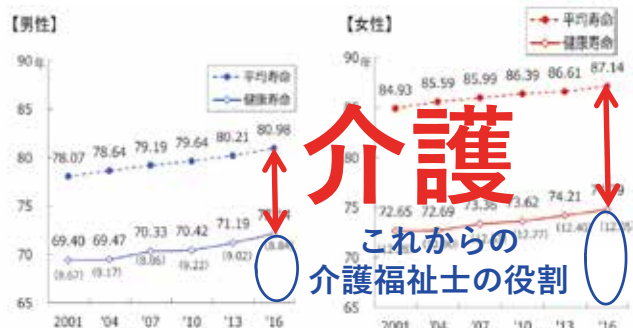
3 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

介護福祉士養成課程の 教育内容の見直し（概要）

- ① チームマネジメント能力を養うための教育内容の拡充
- ② 対象者の生活を地域で支えるための実践力の向上
- ③ 介護過程の実践力の向上
- ④ 認知症ケアの実践力の向上
- ⑤ 介護と医療の連携を踏まえた実践力の向上

4 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

これからの介護福祉士の役割



5 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

介護福祉施設の地域における役割



6 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

地域いきいきプロジェクト



学生数89名（2020年度） 1.2年生を8グループに分け
2グループに1名の担当教員を配置

7 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

各グループの活動内容

	活動内容	関連機関等
1	トリニティ楽々体操（幟町）	地区社協、民生委員 町内会、地域包括、老人会
2	地域清掃、公民館活動、小学校訪問	
3	地域のデイサービスでレクリエーション巡り	高齢者施設
4	地域のデイサービスでレクリエーション巡り	高齢者施設
5	100歳いきいき体操（南区スーパー）	地域包括
6	地域の花壇や畑のお手伝い、買い物の付き添い	地域包括、老人会
7	地域で行う体力づくり活動のお手伝い	地域包括、老人会
8	健康体操のDVDの作成	高齢者施設

毎週水曜日の午前中、担当グループで活動を実施

8 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

トリニティ楽々体操



毎週水曜日『いきいき100歳体操』の
運営に関わらせてもらっています

9 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



体操の前にお話している様子



月に一度はお楽しみ会も実施

10 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

一昨年の忘年会の様子



11 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



12 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

地域の広場で体力づくり（ペタンク）



13 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

公民館でお楽しみ会の開催



14 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

健康体操のDVD作成



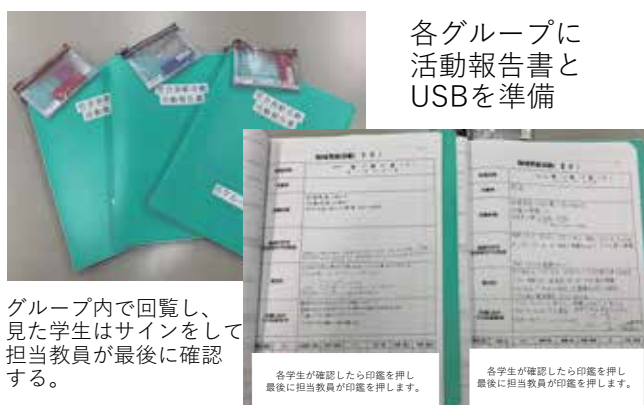
15 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

地域の小学校訪問授業



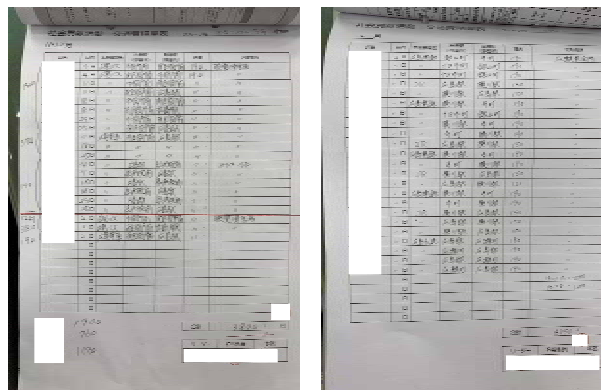
16 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

活動後は実施内容を報告書に記入



17 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

毎月諸経費を届出



18 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

活動の成果

- 地域の方が学校の備品や空き教室を使いたいと言われるようになった。
- 地域の会議に呼ばれるようになった
- 学生が地域のお年寄りと同様になり、自分から声掛けができるようになった
- 1年、2年生の連携が取れるようになった
- 卒業して自分の職場でもやっていきたいという声が出るようになった
- 自分の学校を今まで以上に大事にするようになった
- 近くの小学生が学校帰りに寄ってくれるようになった



19 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

今後の課題

- 報告会の実施
- チーム内でのリーダーシップとフォローアップの強化
- 学生の発想力と実行力を引き出す環境作り
- 地域で暮らす高齢者の身近な困りごとへの対応
- 小学生と高齢者を学校を拠点につなげていく
- 学科教員が今以上に地域に興味を持ち自ら地域へ出向いていく

20 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

まとめ

**福祉施設で活躍する介護福祉士の養成から
地域で活躍する介護福祉士の養成へ**

21 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

令和２年度社会福祉推進事業

「介護福祉士養成施設の教員の教育力向上に関する調査研究事業」

介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けた研修 研修概要及び科目別資料集

発行：令和３年３月

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会

東京都文京区本郷 3-3-10 藤和シティコープ御茶ノ水 2 階
TEL：03-3830-0471 / FAX：03-3830-0472

